



こんにちは
渡辺みのるです

1985年東村山市生まれ、29歳。恩多町在住

日本共産党

恩多町・久米川町・野口町・多摩湖町・全生園
東村山市子育て・若者応援室長

第7号(2015年3月号)



核兵器廃絶平和都市宣言塔の再設置を

3月議会に再設置を求める陳情が提出される

私は幼少のころより、母や祖母に連れられて平和運動に参加してきました。なかでも、核兵器の廃絶を求める署名活動―6・9行動―は私の政治活動の原点です。

東村山駅東口・久米川駅南口で署名活動をする際は、それぞれロータリーに設置されていた『核兵器廃絶平和都市宣言』の宣言塔を見ながら、非核平和宣言をしている東村山市の市民であることに誇りを持ちながら活動をしていました。

東村山市は、1987(昭和62)年9月27日に、『核兵器廃絶平和都市宣言』を行いました。この『非核平和宣言』は、広島・長崎の惨禍を再び繰り返さないため、住民を核兵器の脅威から守るために全国の自治体で行われており、いまでは、全国のおよそ9割の自治体が『宣言』をしています。日本を含む116カ国で国

東村山駅東口に設置されていた『核兵器廃絶平和都市宣言塔』現在は、撤去されたままとなっている



連に共同提出をした、「核兵器の全面的廃絶に向けた共同行動」が賛成170、反対1、棄権14で採択されました。また、核保有国5カ国も参加しオーストリアで開かれた「第3回核兵器の人的影響に関する会議」では、核兵器が国際人道法に反するということも含めた議長総括がなされるなど、国際社会はいま、核兵器廃絶へと大きく動こうとしています。

自己紹介⑥

高校卒業と同時に、私が生活保護をはずされ、生活費をまかなうためと、予備校に通う学費を工面するために、アルバイトを始めました。

制度の狭間におかれ選挙権もない18・19歳のころは、未成年でありながら生活保護の受給年齢の対象からはずされるなど、自分で生計を立てなければならぬ状況におかれました。

日本の民法・生活保護法・少年法など、さまざまな法律や条例・制度の矛盾を感じ、政治を考える大きなきっかけになりました。 つづく

2月26日から3月26日の日程で行われている、東村山市議会の3月定例会には、東村山駅東口に宣言塔の再設置を求める陳情が提出されています。

広島・長崎の被ばくから70年をむかえる今年、東村山から核兵器の廃絶と平和を願う声を大きく広げていくために、一緒に『核兵器廃絶平和都市宣言塔』の再設置を実現させましょう。

ツイッター

https://twitter.com/musashino_udon

フェイスブック

<http://www.facebook.com/watanabeminoru>